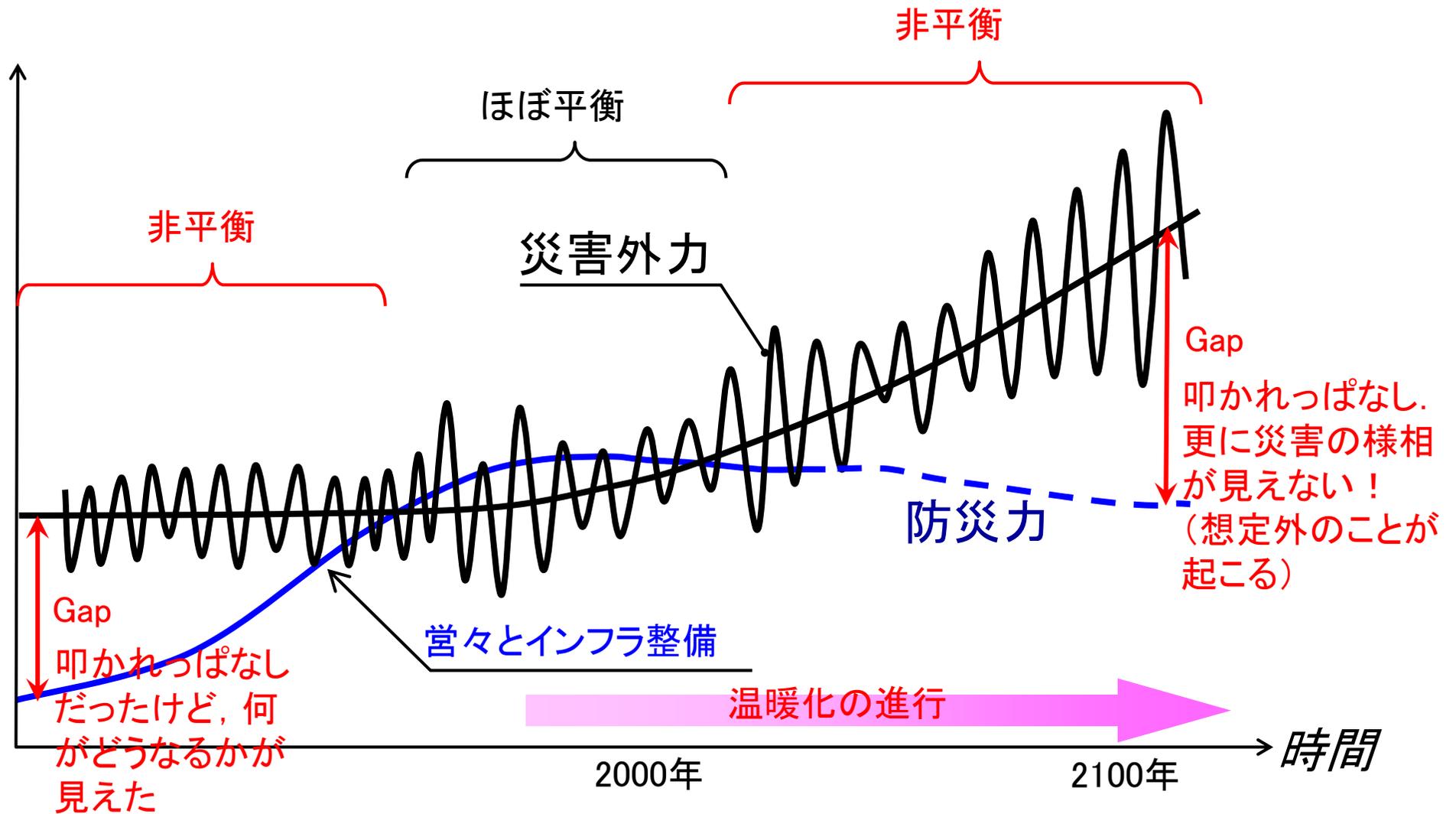


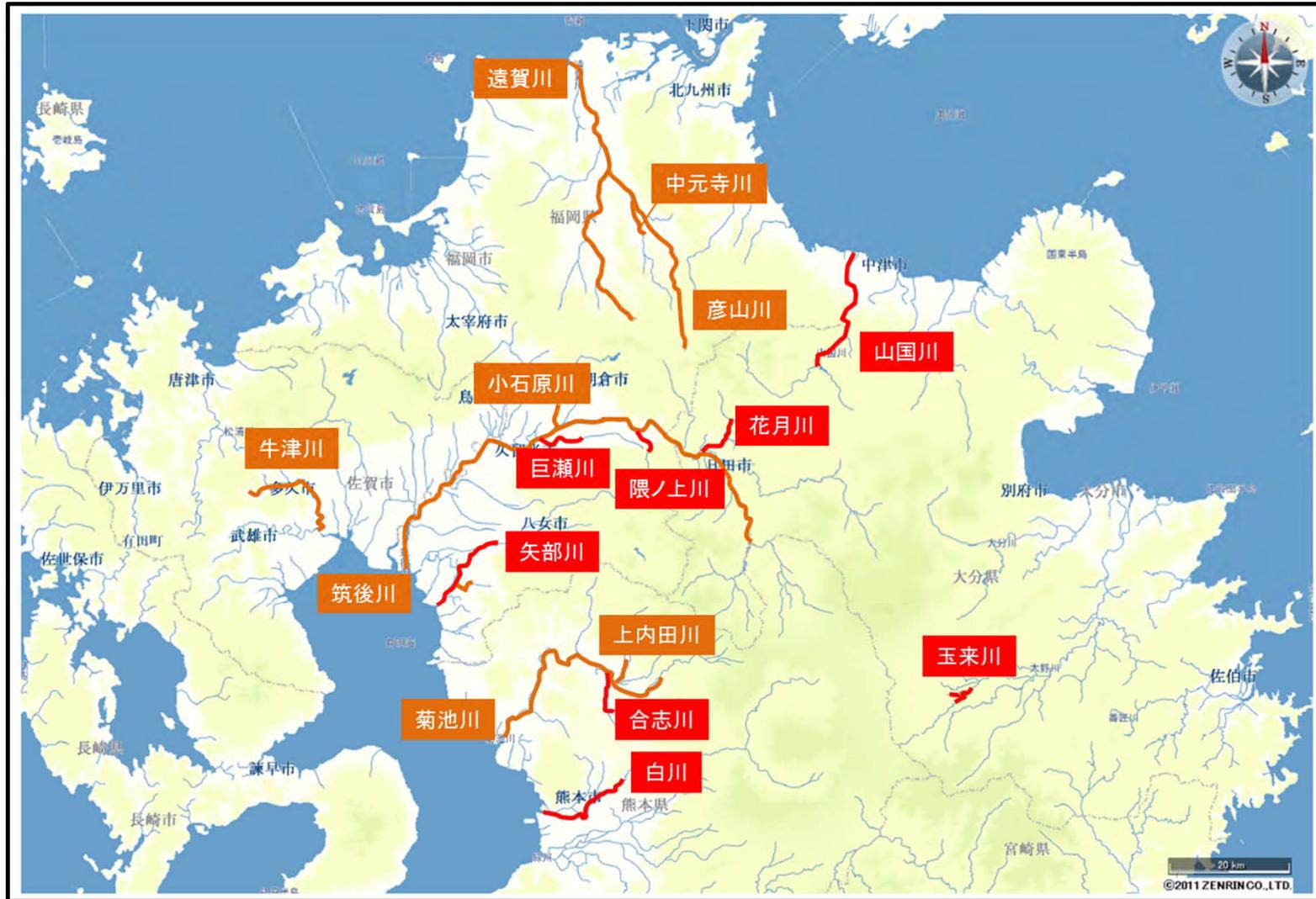
# 災害外力と防災力の関係





日本のどこを襲っても被害が発生

# 平成24年九州北部豪雨災害で被災した主な水系



被害の出た河川（一級河川水系のみ。赤字は氾濫発生河川，茶色は氾濫危険水位を超えた河川）

**叩かれた所が被災するというパターン**

# 伊豆大島17人死亡43人不明

## 台風住宅に土石流

大型で強い台風26号は16日午後、日本の東海上を北上し、同3時ごろに三陸沖で温帯低気圧になった。東京都大島町(伊豆大島)での土石流による被害は、警視庁と町によると、午後9時半現在で17人が死亡、ほかに43人が行方不明となっている。このほか首都圏で死者が1人、行方不明者が3人出た。

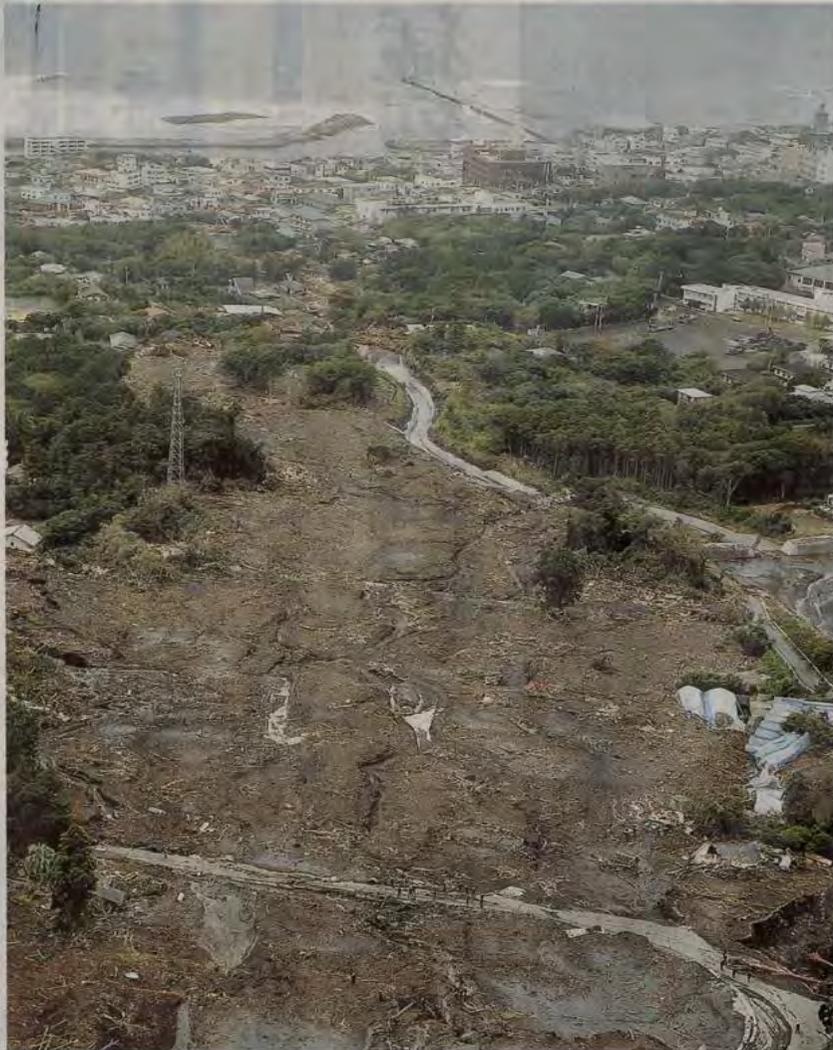


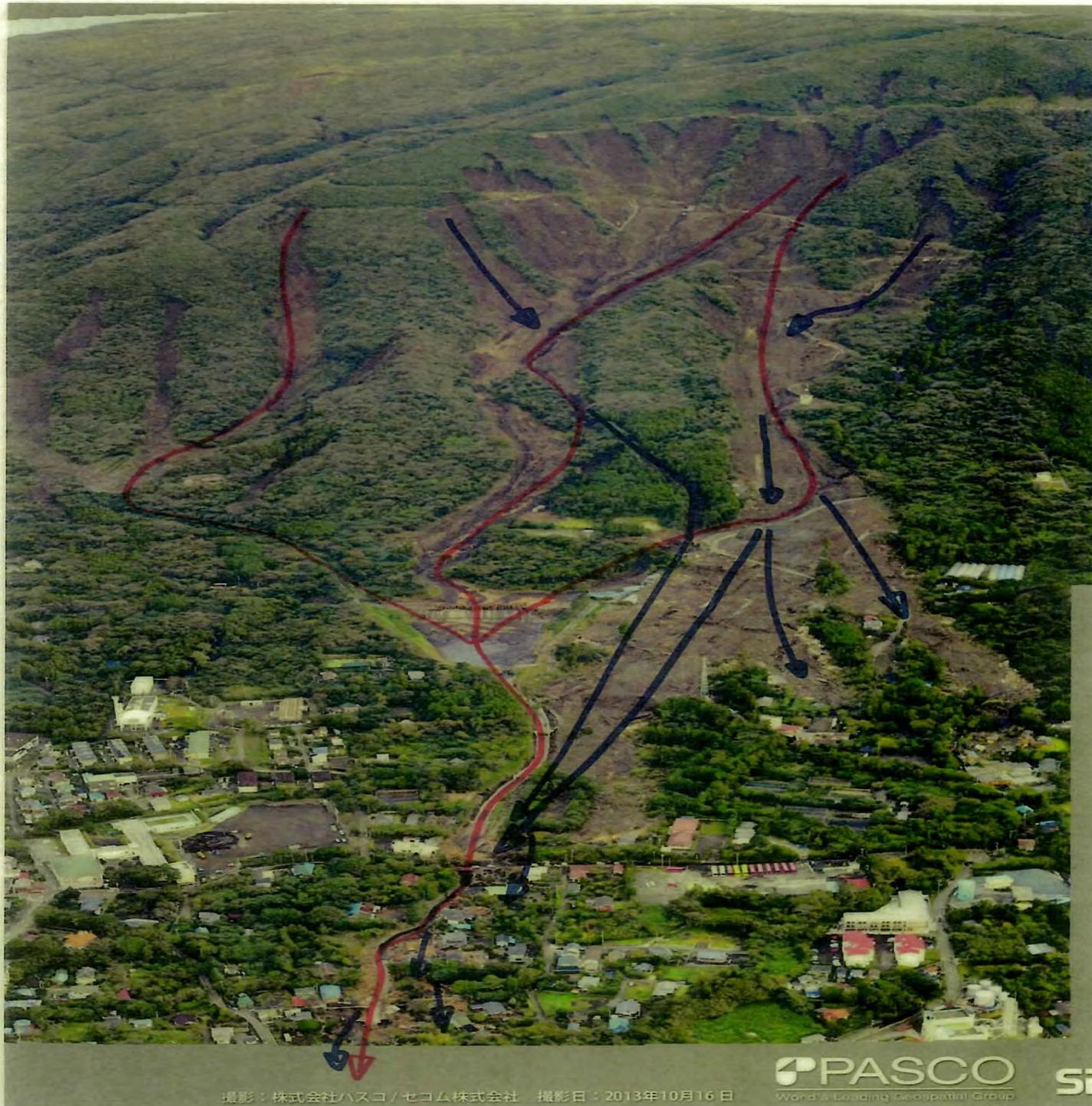
町や都によると、土石流によって家屋倒壊などの被害が出たのは、三原山中腹にある神達地区と、そこから海側に約1km離れた町役場近くの元町3丁目周辺。警視庁によると、神達地区では10人の遺体が見つかった。男性4人、女性5人で、性別が分からない人も

- 2面〓火山灰崩落か
- 3面〓特別警報なし
- 38面〓泥かき分け救助
- 39面〓隣の3軒消えた

1人いる。元町周辺では女性3人が見つかった。港や浜では男性2人、女性1人の遺体が見つかった。1人

は発見場所が確認できていない。猪瀬直樹都知事は防衛





**赤線**: 想定されていた土石流の道筋

**青線**: 実際に起こった土石流の道筋



**災害の大規模化により  
想定外の状況が引き起こされる**



**橋梁部分に集積した大量の流木が氾濫原因となる**